

福島第一原子力発電所2号機原子炉建屋 1階上部空間の調査結果について

平成25年6月19日
東京電力株式会社



東京電力

1. 調査結果の概要

◆目的

2号機原子炉建屋1階の上部空間及び高所PCV貫通部の周辺状況について、ロボットを用いた調査により、雰囲気線量率・干渉物の有無等を確認し、今後のR/B内線量低減対策、PCV調査・補修等の作業計画の策定に資すること

◆実施内容

2号機 R/B1階 上部空間調査

➤ 線量率測定・目視確認（干渉物の状況）

◆使用機器

高所調査用ロボット：1台 PackBot：1台

◆実施体制

当社社員 9名（免震棟5名・現場4名）

協力企業社員 5名（免震棟2名・現場3名）

◆調査日時

6/18（火） 12:00 ロボットR/B入域

16:14 ロボットR/B退域

◆被ばく線量

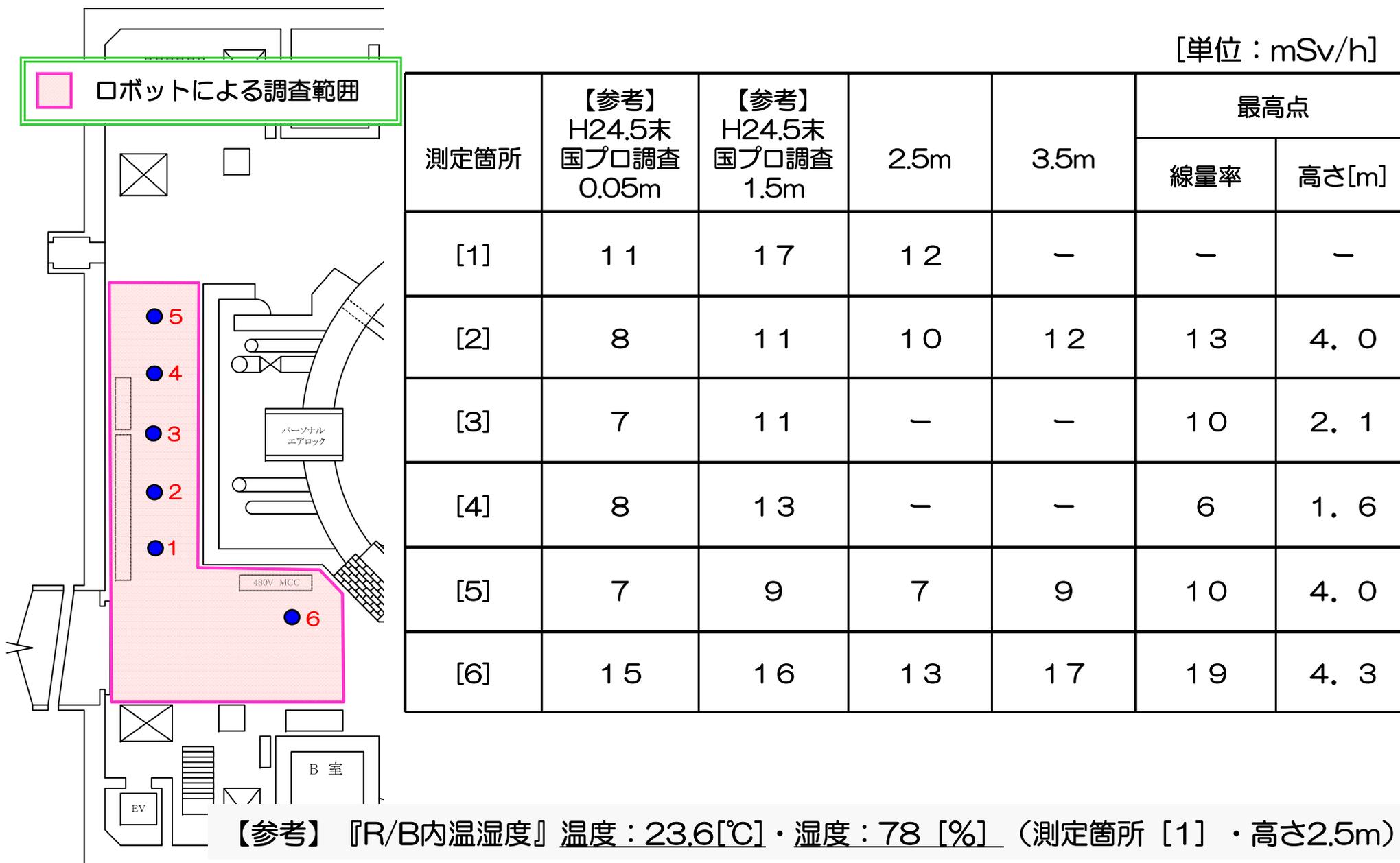
作業員：0.98mSv（最大）※計画2.0mSv

高所調査用ロボット：38.5mSv PackBot：41.0mSv



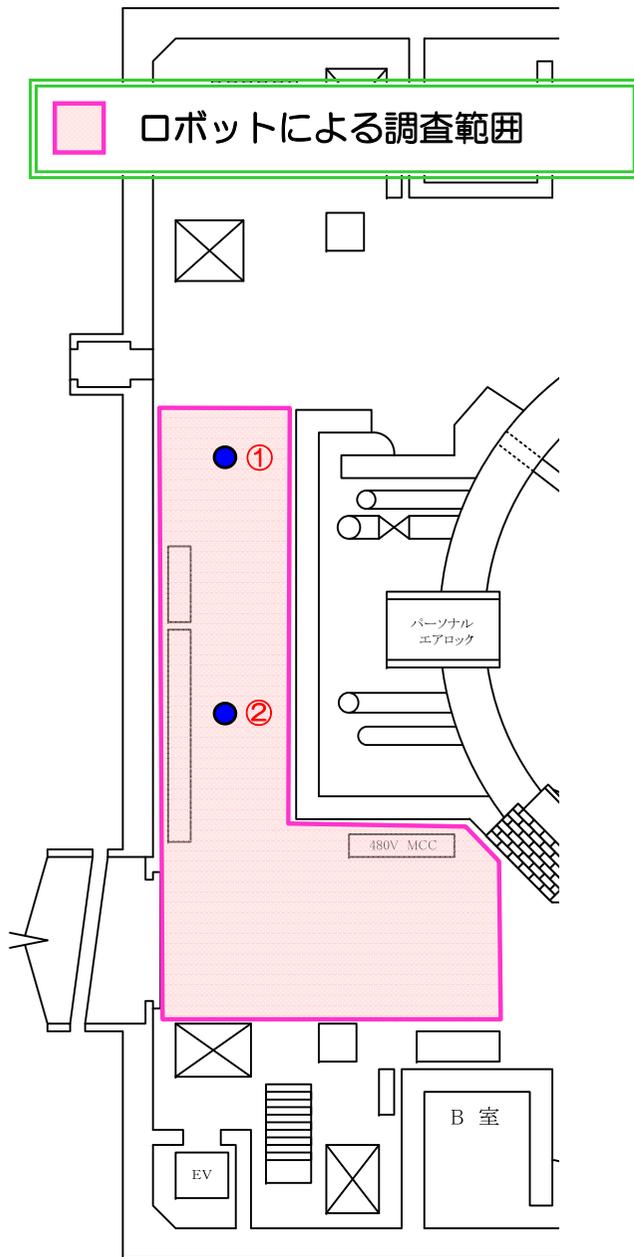
高所調査用ロボット

2. 調査結果（雰囲気線量率）

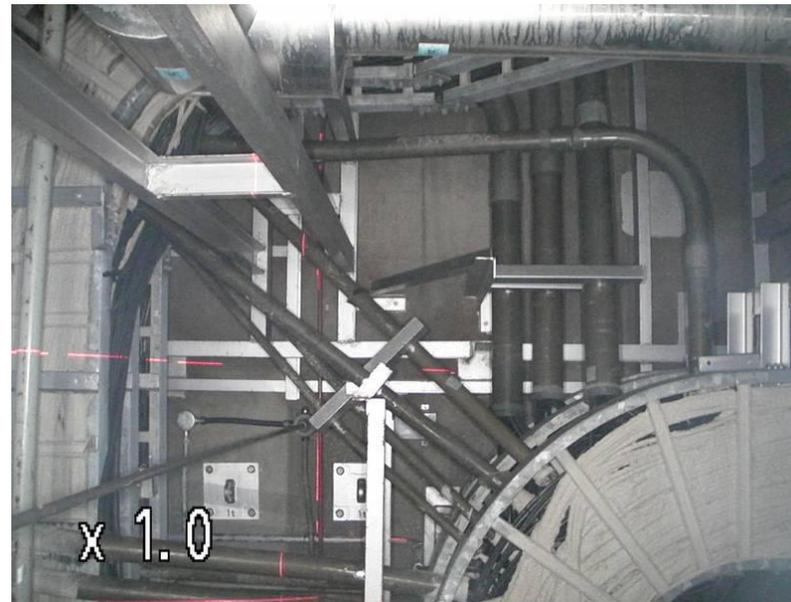


3. 調査結果（目視確認）

～西側通路天井～

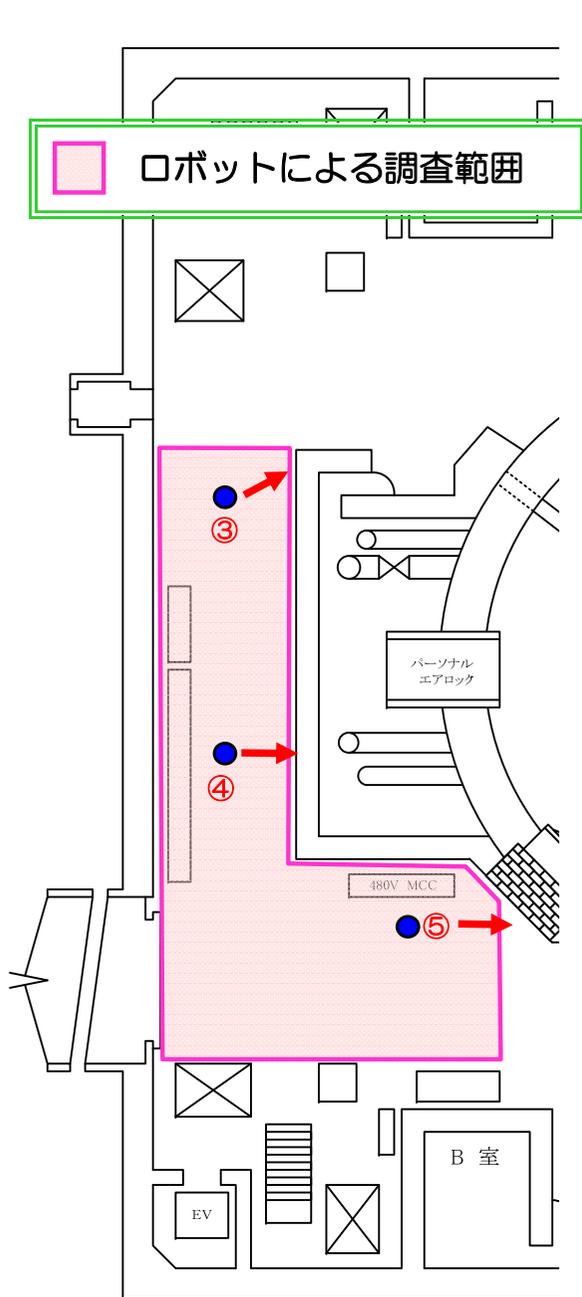


撮影箇所①天井状況



撮影箇所②天井状況

4. 調査結果（目視確認） ～上部壁面の状況～



撮影箇所③壁面側上部(床上4.0m)



撮影箇所④壁面側上部(床上4.0m)



撮影箇所⑤壁面側(床上3.5m)



撮影箇所⑤壁面側上部隙間(床上4.3m)

5. まとめ

◆調査結果

- ・ 2号機原子炉建屋西側通路、及び、南西エリアの上部状況調査を実施した。
- ・ 上部の方の線量が高いことを確認したが、下部に対して顕著な差異はなかった。
- ・ 上部空間の狭隘な状況を確認した。
- ・ 機器類の損傷は特に確認出来なかった。

◆今後の予定

- ・ 本調査の結果を踏まえ、高所PCV貫通部周辺の調査の実施可否、及び、調査エリアの拡大の検討を行う。